



Interim Authentication Header サポート

Interim Authentication Header (IAH) は、DBE によって生成される、Resource Admission Control Subsystem (RACS) へのあらゆる H.248 メッセージに含まれます。フィールドはすべてゼロに設定されます。DBE は、IAH が含まれている、送られてきた H.248 メッセージをすべて受け付けますが、その内容は確認しません。DBE が確認するのは、構文が正しいかどうかだけです。この機能は、RACS (SBE) の動作と類似しています。RACS も H.248 メッセージに IAH が含まれていることを確認するだけであって、内容は確認しないからです。

Interim Authentication Header サポートの機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「[Interim Authentication Header サポートの制約事項](#)」 (P.431)
- 「[Interim Authentication Header サポートに関する情報](#)」 (P.431)
- 「[Interim Authentication Header サポートの設定](#)」 (P.432)
- 「[その他の関連資料](#)」 (P.433)

Interim Authentication Header サポートの制約事項

- IAH が受信メッセージで確認されるのは、構文が正しいかどうかだけです。
- この機能はセキュリティ サポートを提供しませんが、将来のセキュリティ サポートの土台になります。

Interim Authentication Header サポートに関する情報

H.248/Megaco MGC は、H.248/Megaco 仕様の定義に従って、IPSec または IAH でセキュリティ保護されたトランスポート上で動作します。

ゼロ Interim Header Authentication は、H.248/Megaco の SBC 実装に関してシスコが定めた要件であり、標準の仕様とは次の点で異なります。

- 非 IPSec トランスポート上で送信されるメッセージには、Interim AH ヘッダーが追加されますが、このヘッダー フィールドはすべて、明示的にゼロに設定されます。
 - SecurityParmIndex は 0x00000000 に設定されます
 - SequenceNum は 0x00000000 に設定されます
 - AuthData は 0x00000000000000000000000000000000 に設定されます
- 非 IPSec トランスポートを介して受信したメッセージには、IAH が含まれていますが、このヘッダーの内容は確認されません。確認されるのは、構文が正しいかどうかです。
- (検証が実際に実行されるかどうかにかかわらず) 実行時に IAH サポートのレベルをイネーブルまたはディセーブルにすることはできません。



(注)

トランスポート プロトコルのデフォルト設定は UDP です。

Interim Authentication Header サポートの設定

ここでは、IAH サポートを設定する手順について説明します。H.248 メッセージに IAH を挿入するために、新しい `interim-auth-header` キーワードが `transport` コマンドに追加されています。

手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `dbc`
4. `vdbe`
5. `controller h248 controller-index`
6. `transport [tcp|udp] interim-auth-header`
7. `commit`
8. `exit`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code> 例: RP/0/0/CPU0:router# <code>configure</code>	コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name</code> 例: RP/0/0/CPU0:router(config)# <code>sbc mysbc</code>	SBC サービスのモードを開始します。 <code>service-name</code> 引数を使用して、SBC の名前を定義します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	dbe 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# dbe	SBC の Data Border Element (DBE) 機能のモードを開始します。
ステップ4	vdbe 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe)# vdbe	仮想 (vDBE) パラメータを設定するために、DBE にサブモードを開始します。
ステップ5	controller h248 controller-index 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# controller h248 1	H.248 メディア ゲートウェイ コントローラを設定するサブモードを開始します。
ステップ6	transport [udp tcp] interim-auth-header 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe-h248)# transport tcp interim-auth-header	指定されたトランスポート プロトコルを使用し、H.248 メッセージに Interim Authentication Header を挿入するように、H.248 メディア ゲートウェイ コントローラを設定します。 有効なプロトコルは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • udp : H.248 シグナリング用のトランスポート プロトコルとして UDP を使用します。 • tcp : H.248 シグナリング用のトランスポート プロトコルとして TCP を使用します。
ステップ7	commit 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe-h248)# commit	設定の変更内容を保存します。実行コンフィギュレーション ファイルに変更を保存し、コンフィギュレーション セッションを継続するには、 commit コマンドを使用します。
ステップ8	exit 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe-h248)# exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。

その他の関連資料

ここでは、Interim Authentication Header サポートに関する関連資料について説明します。

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

標準

標準	タイトル
H.248.1	『Media Gateway Control (Megaco) Protocol Standard, v.1』

MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p>http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</p>

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	http://www.cisco.com/en/US/support/index.html